

# 第2学年道徳学習指導案

日時 平成27年11月17日(火) 5校時

場所 2年5組教室

学級 2年5組(男子19名 女子17名 計36名)

授業者 水野 堇花

1 主題名 法やきまりの意義 【4-(1)規則の意義】

2 資料名 二通の手紙(出典 文部科学省『私たちの道徳 中学校』)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領において、内容項目4-(1)は、「法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。」としている。

規則は簡単に破られがちである。それは、人はそれぞれ規則よりも大事だと思っていることがあるからである。特に中学生の場合は、友情や思いやりを大切にせず規則を破ってしまうことがある。友情や思いやりは非常に重要であるが、それだけを大事にしては世の中は成り立っていないという認識を深めたい。

また、中学生は自我の発達著しい時期でもあり、「規則」や「きまり」という言葉に対して自分の行動を制限・拘束するものという負のイメージを持っている生徒も多い。指導にあたっては、その認識のもとに、導入の段階で身近な資料を用いて規則やきまりに対して感じていることを自由に発表し、現在の自分と規則やきまりとの関係を確認できるようにする。授業の進行とともに、規則やきまりの果たす役割や意義を明らかにし、それらが自らを縛る否定的なものではなく、すべての人の権利や生命を守り、社会のよりよい向上のために有用であることを理解することが大切であると考え。

(2) 生徒について

本学級の生徒は、学級目標の実現に向けて授業中や席替え時などのルールを決めている。多くの生徒がそれらを意識しながら生活している。中には大きな声で呼びかけをし、学級全体の意識を高めてくれる生徒もいる。

しかしながら、一部の生徒の中には係の仕事を優先してチャイム席が守れなかったというものや、友人の用事に付き添って自分の当番の仕事をやらないというような、きまりの判断基準を下げて甘い自己判断をする様子も見られる。また、そのようなルール違反を見て見ぬふりをして解決しようとしめない状況も見られる。係の仕事を責任もって行うことや、友人を思いやる気持ちは重要であるが、それらを大事にしすぎて学級のルールが軽視されてしまう時がある。

そこで本時では、主人公の人を思いやる気持ちに共感させながらも、その判断を巡る道徳的葛藤について話し合わせ、社会における法やきまりの意義について改めて認識し直させ、社会の中でのきまりとは、すべての人を守るためにあることに気付かせたい。

(3) 資料について

動物園の職員の元さんは、少女とその弟を同情心から、園の規則を破って二人だけで園内に入れてしまう。二人は閉園時刻になっても出て来ず騒然とするが、無事に発見された。その後、元さんに二人の母親から二人を入園させてくれたお礼の手紙が届く。そして上司から懲戒処分の通告も渡された。元さんは二通の手紙を手を晴れ晴れとした表情で職場を去る。

主人公の心温かい判断が、事件に発展してしまう場面は、生徒にとって「善と善の葛藤」を引き起こし、活発な話し合いが期待できる。さらに二通の手紙について考えることで、きまりの意義について思考を深めることができる資料である。

#### 4 本時の指導

##### (1) ねらい

社会の中でのきまりとは、すべての人を守るためにあることを気づかせ、規則を守ろうとする心情を養う。

##### (2) 学び合いとのかかわり

以下のようにして「作業的な活動」、「小グループでの学び合い」、「表現の交流」という学びの三要素を取り入れて授業を進めていく。

###### ①ワークシートの工夫

事前に発問が示された学習プリントは、かえって生徒の思考を制限してしまうこともあるので、なるべく白紙に近い学習プリントを活用することで可能な限り生徒の純粋な思いを引き出し、表現させたい。また、「友達の考え」を記入する欄を作ることで、「表現の交流」を盛んにさせたい。

後日、授業の振り返りを記入したワークシートを切り取り、全員分まとめて学級に掲示するという「作業的な活動」も行う予定である。

###### ②「4人グループ」の活用

4人グループ（「小グループでの学び合い」）で「表現の交流」をさせることで一人ひとりが授業に参加しやすい雰囲気を作りたい。また、4人グループでの交流の後にコの字の座席で共有するというステップを踏むことでできるだけ多様な意見や考えが出るようにする。そして様々な立場からの意見を聞き、交流することで思考を深めさせたい。

##### (3) 展開

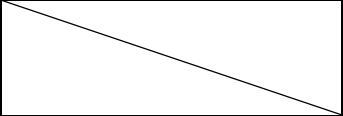
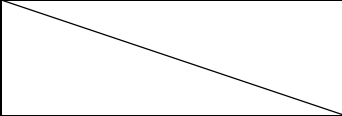
段階	学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 7分	1. 資料「ディズニーランドがお姫様の格好をした女性を入場拒否」を読んで身近なきまりや規則について考える。 ○みなさんはこの規則についてどう思いますか？ (ペア→コの字)	・規則だから守らなければいけない。 ・楽しむためにドレスを着てもよいのではないか。	・楽しい夢の国にも実は規則があるということから、道徳資料を身近に感じさせ、本時の学習に関心をもたせる。 ・親しみやすい話題について近くの人と話すことにより、一人ひとりが授業に参加しやすい雰囲気を作る。
展開 40分	2. 資料「二通の手紙 (①場面)」を読んで、内容を確認する。 ①姉弟を入園させた元さんの行動に賛成ですか、反対ですか。 (個人でワークシート記入→グループ→コの字)	・動物園 ・元さん ・姉弟 【賛成】 ・いつも来ているから。 ・誕生日だから。 ・お金を持ってきているから。 ・2人を思いやった優しい行動だから。 【反対】 ・規則は守らなければいけないから。 ・何かあってからでは遅いから。 ・子どもだけでは危険だからいけない。 【迷っている】 ・かわいそうだけど規則は守らなければ…	・教師が範読する。 ・場所や登場人物を確認する。 ・どの生徒も自分の考えを表現できるようにワークシートに自分の考えを理由まで具体的に書かせる。 ・賛成、反対で迷っている場合には、その理由を書かせる。 ・コの字で共有するときは、個人の意見だけでなくグループの人の意見も聞く。 ・元さんの葛藤した価値について理解させたい。
	3. 資料「二通の手紙 (②場面)」を読む。 ○事務所で捜索を待っているときの元さんはどのような気持ちだっただろう。 (コの字)	・子どもたちに何かあったらどうしよう。 ・一緒についていけばよかった。 ・不安。 ・規則を守ればよかった。 ・職員みんなに迷惑をかけて申し訳ない。 ・入れたことを後悔している。	・教師が範読する。 ・捜索場面での元さんの「祈るような気持ち」に着目させて、後悔を含め様々な思いがあったことに気付かせる。 ・元さんの行動が結果的に大問題になってしまったことをおさえる。

	<p>②元さんが「この年になって初めて考えさせられたこと」とはどんなことだろう。 (個人でワークシート記入→グループ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな理由があろうと規則は守らなければならない。</li> <li>・自分勝手な判断や感情だけで規則を破ってはいけないということ。</li> <li>・命や安全が第一。</li> <li>・自分の勝手な判断によってまわりに迷惑をかけてしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お礼の手紙にのみ着目している場合には、「二通の手紙のおかげ」という言葉に着目させて、懲戒処分の通告も元さんの新たな出発に役立っていることに気付かせる。</li> <li>・不満や批判的な思いもあるかもしれないが、元さんの顔は「晴れ晴れ」していることに着目させる。</li> </ul>
	<p>4. 規則の意義について考える。 ③規則によって守られているものは何だろう。 (グループ→コの字)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命</li> <li>・安全</li> <li>・幸せ</li> <li>・人生</li> <li>・人権</li> <li>・みんな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の中でできまりとは、すべての人を守るためにあることに気付かせたい。</li> </ul>
<p>終末 3分</p>	<p>5. 授業の感想を書く。 ○今までの自分と、今日の授業を振り返り、考えたことをまとめよう。 (個人でワークシート記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しさも大事だけど、ルールは絶対に守らなければいけないということに気付いた。</li> <li>・みんなが幸せに生活するためにルールを守らなければいけないと思った。</li> <li>・優しさだけでなくその人の命や安全を考えて行動したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の変容に気付かせ、こうなりたい、こうしたいという自分を想像させる。</li> </ul>

(4) 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>・命</li> <li>・安全</li> <li>・幸せ</li> <li>・人生</li> <li>・人権</li> <li>・みんな</li> </ul>	<p>3. 規則によって守られているものは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命や安全が第一。</li> <li>・動物園の規則の意味が初めてわかった。</li> </ul>	<p>2. 元さんが「この年になって初めて考えさせられたこと」とはどんなことだろう。</p>	<p>1. 姉弟を入園させた元さんの行動に賛成ですか、反対ですか。</p>	<p>動物園 元さん 勤勉 真面目</p>	<p>二通の手紙</p>
			<p>結果・・・大問題</p>	<p>賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも来ているから</li> <li>・誕生日だから</li> <li>・お金を持ってきているから</li> <li>・優しいから</li> </ul>		
				<p>反対</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則は守らなければいけない</li> <li>・何かあつてからでは遅い</li> <li>・子どもだけでは危険</li> </ul>		
			<p>二通の手紙</p>			
				<p>閉門時刻になつても姉弟が出てこない・・・</p>		

(5) 資料分析表

場面	主人公の意識	生徒の反応	意識の焦点化	発問
<p>入園終了時刻が過ぎ、小学生以下の子どもだけでは入園できないという規則を知っていながらも、2人の姉弟を特別に入れてしまう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日だしお金も持ってきている。ここで帰すのはかわいそうだ。</li> <li>・園の規則でダメなのはわかっているけど今回は特別に。</li> </ul>	<p><b>賛成</b> いつも来ていて今日は誕生日、お金もあるからいい。</p> <p><b>反対</b> 何かあってからでは遅いから規則は守らなければいけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわいそうだけど規則は守らなければ・・・</li> </ul>	<p>元さんの葛藤した価値について理解させたい。</p>	<p>姉弟を入れた元さんの行動に賛成ですか、反対ですか。</p>
<p>閉門時刻が過ぎても2人は出てこない。職員が一齐に搜索を始めるも、刻々と時間は過ぎていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに何かあったらどうしよう。自分の責任だ。</li> <li>・規則を守って2人を入れなければよかった。</li> <li>・自分のしたことは本当によかったのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに何かあったらどうしよう。不安だ。</li> <li>・一緒についていけばよかった。</li> <li>・規則を守ればよかった。後悔している。</li> <li>・職員みんなに迷惑をかけた。</li> </ul>	<p>搜索場面での元さんの「祈るような気持ち」に着目させて、後悔を含め様々な思いがあったことに気付かせたい。</p>	<p>事務所で搜索を待っているときの元さんはどのような気持ちだっただろう。</p>
<p>数日後、2人の子どもの母親から感謝の手紙が届く。同時に上司から停職処分 of 通告を受ける。元さんは晴れ晴れとした顔で身の回りの片付けを始める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の出来事で学んだことを生かしてまた新しい気持ちで人生をやり直そう。</li> <li>・いいことをして感謝された。満足。しかし重大な事故になっていたかもしれない。軽い気持ちで規則を破ってはいけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな理由があろうと規則は守らなければならない。</li> <li>・命や安全が第一。</li> <li>・動物園の規則の意味が初めて理解できた。</li> </ul>	<p>「この年になって初めて考えさせられたこと」に着目させながら、きまりを守ることの意味について考えさせたい。</p>	<p>元さんが「この年になって初めて考えさせられたこと」とはどんなことだろう。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・命</li> <li>・安全</li> <li>・幸せ</li> <li>・人権</li> <li>・みんな</li> <li>・人生</li> </ul>	<p>社会の中できまりとは、すべての人を守るためにあることに気付かせたい。</p>	<p>規則によって守られているものは何だろう。</p>